

知財研修会による社員の知財意識の高揚～クライアントのリスク低減

会社概要

株式会社プラルト（松本市）

1952年1月設立 資本金2,100万円 従業員98名

創業時以来培ってきた印刷技術とマーケティング力を活かした各種紙媒体・Web・サイン・看板・映像・イベントなど様々なコンテンツを活用し、企画立案から最終的な納品に至るまで、お客様の広報・販促活動をサポートすべく体制を構築しております。

特に、豊富なデザイナーやDTPエキスパートを擁し、デザイン制作、WEBサイト構築、ブランディングなど質の高いサービスを提供しています。



株式会社プラルトのホームページより

きっかけ

当社クライアントの依頼に基づき新商品のネーミング案やロゴマークを提案するにあたり、表記が異なるものの称呼が似た他者商標が存在することが判り、リスクの有無や対処法について知財総合支援窓口にご相談しました。

窓口担当者からJ-PlatPatの検索方法を教授いただくと共に、商品名案のリスクについてアドバイスいただき、結果、スムーズに通る可能性の高い商品名に変更してクライアントに提案しました。

支援内容・ポイント

当社がクライアントに提供するネーミングやロゴマーク、WEBデザイン等は、知財上のリスク排除が大前提であることを再認識し、知的財産権に関する社員の見識を高めるために、窓口支援担当者を講師に招いて、商標権、著作権、契約、J-PlatPatによる検索など知財に関する社内セミナーを実施しました。

また、個別のクライアント向けのロゴマークに関する商標出願・商標調査の支援や、顧客パンフレットの制作にあたっての著作権上の助言をいただきました。

成果

知財研修を受けたことで、多くの社員が知的財産権制度の概要を理解すると共に、知的財産権の重要性を認識しました。そのため、当社のデザイナー、WEB制作担当、営業担当者らが個別の業務において密接な関係がある知財に対する意識を強く持つようになり、クライアントの商品・サービスのリスク低減ひいては信頼度の向上につながっています。